

2018年10月期（第42期）
決算説明資料

2018年12月14日（金）
スリープログループ株式会社
東証二部　：　2375

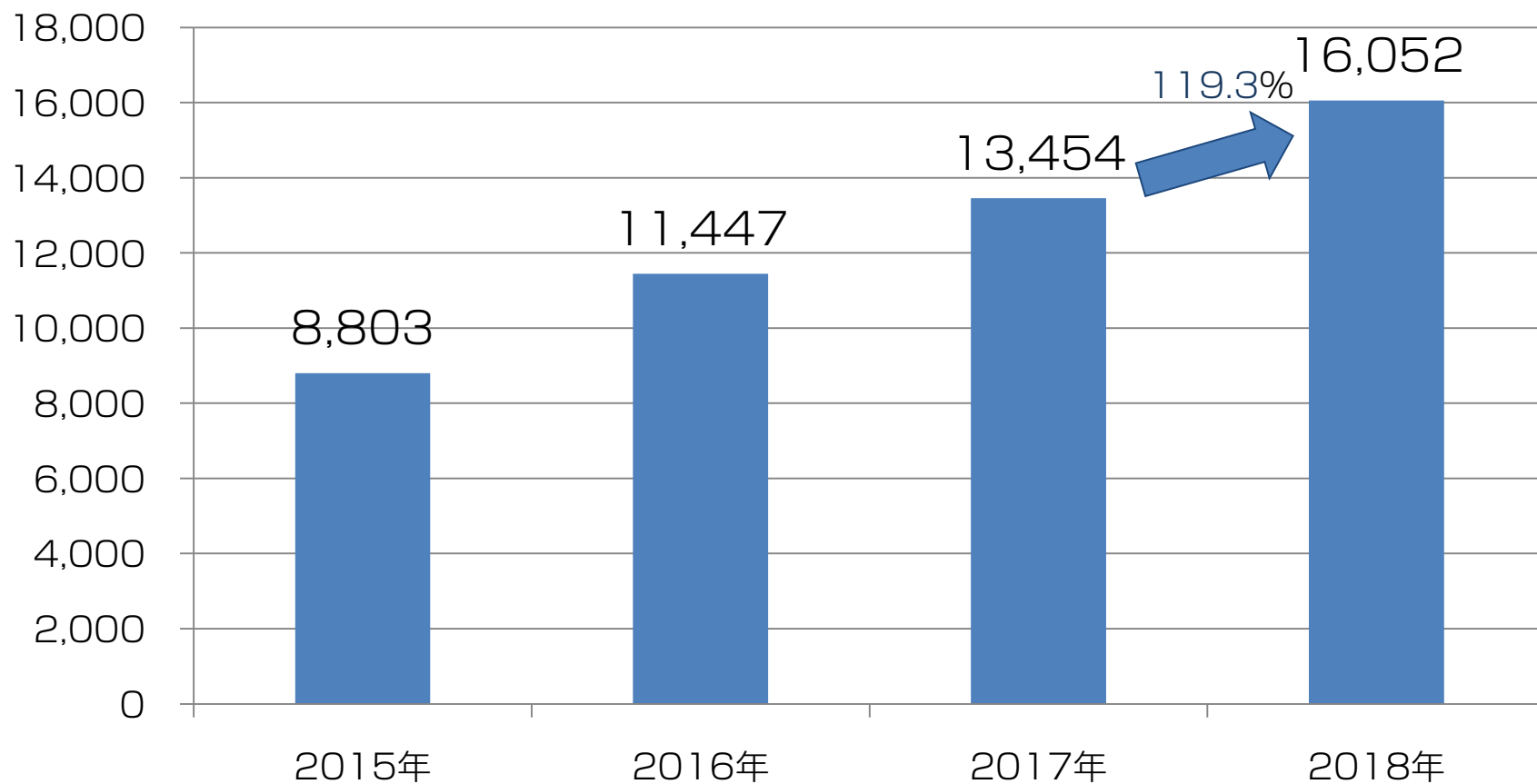
- 1. 2018年10月期 通期 決算概要**
- 2. 2019年10月期 通期計画**
- 3. 成長戦略/今後の取り組み**
- 4. 参考資料**

1. 2018年10月期 通期 決算概要

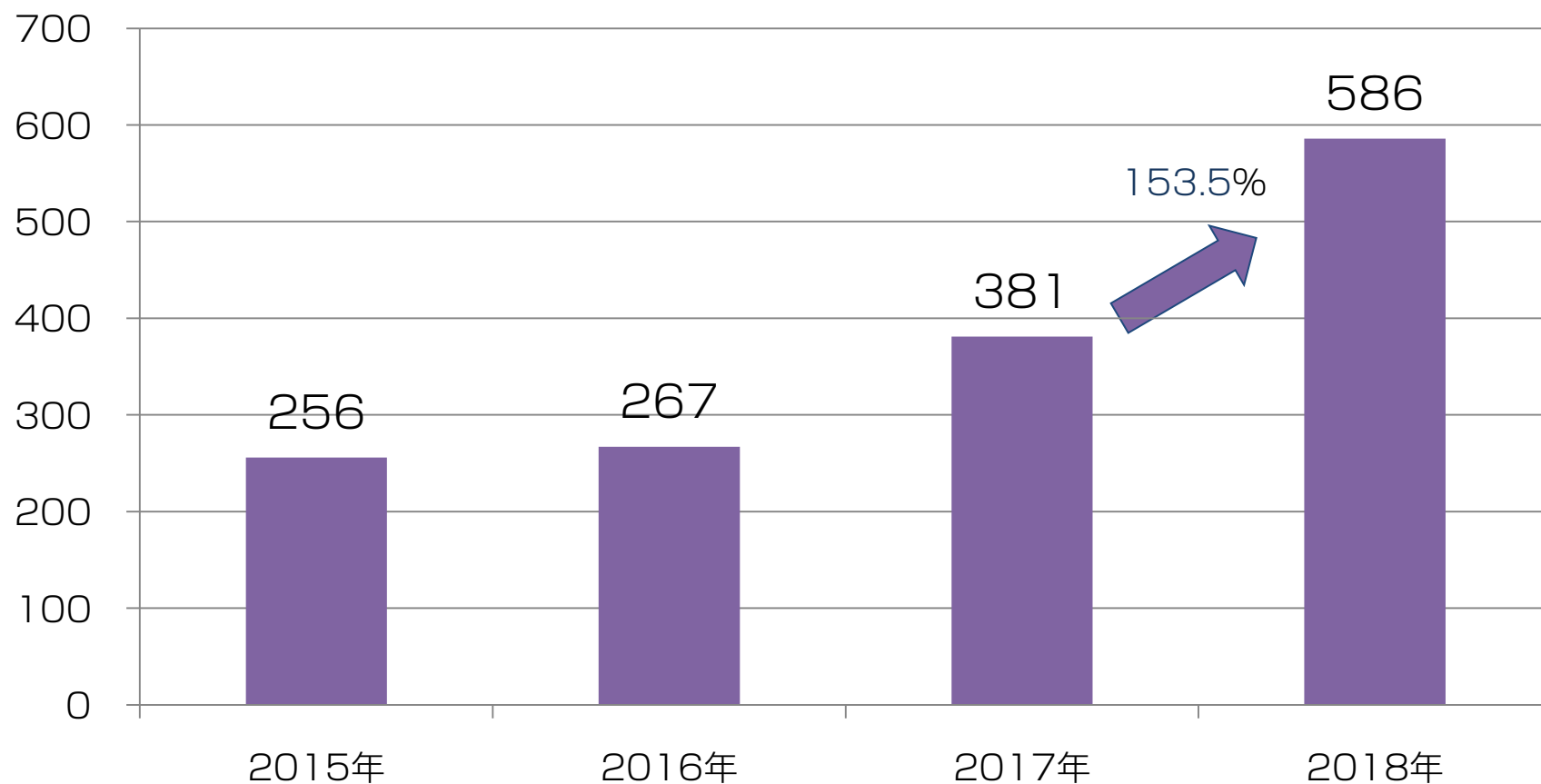
以下の指標において**過去最高**を達成

売上高	16,052百万円	(+19.3%)
営業利益	586百万円	(+53.8%)
経常利益	613百万円	(+52.8%)

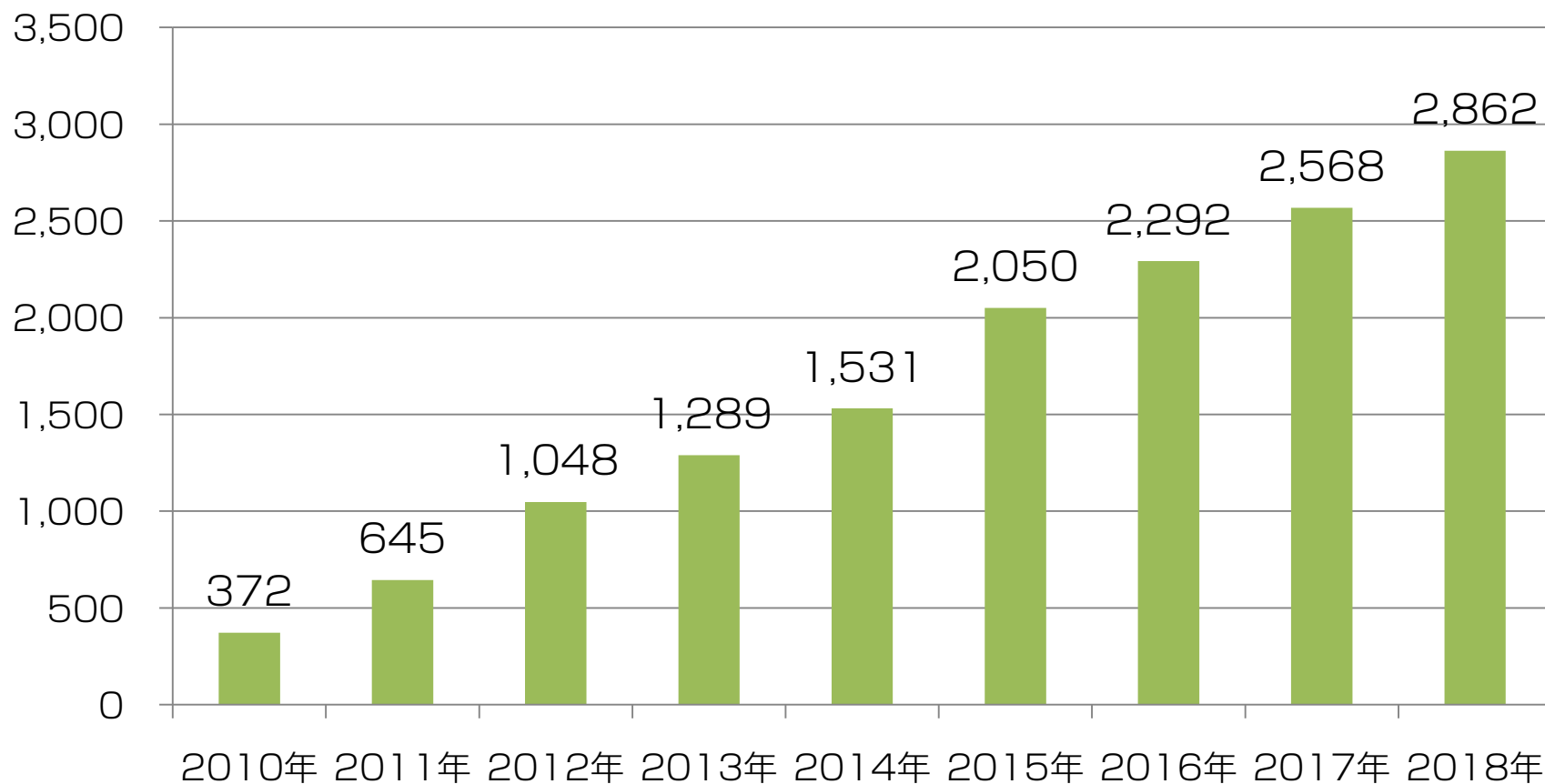
単位：百万円



単位：百万円



単位：百万円



決算概要 - 業績推移

3PRO

単位：百万円

	2017年10月期 (2016年11-2017年10月)	2018年10月期 (2017年11-2018年10月)	増減額	増減率
売上高	13,454	16,052	2,598	+19.3%
売上総利益	2,968	3,618	650	+21.9%
売上総利益率	22.0%	22.5%	+0.5pt	
販売管理費	2,587	3,031	444	+17.1%
営業利益	381	586	205	+53.8%
営業利益率	2.8%	3.6%	+0.8pt	
経常利益	401	613	212	+52.8%
当期純利益	215	309	94	+43.7%
EBITDA	682	846	164	+24.0%
ROE	8.4	10.8	2.4	

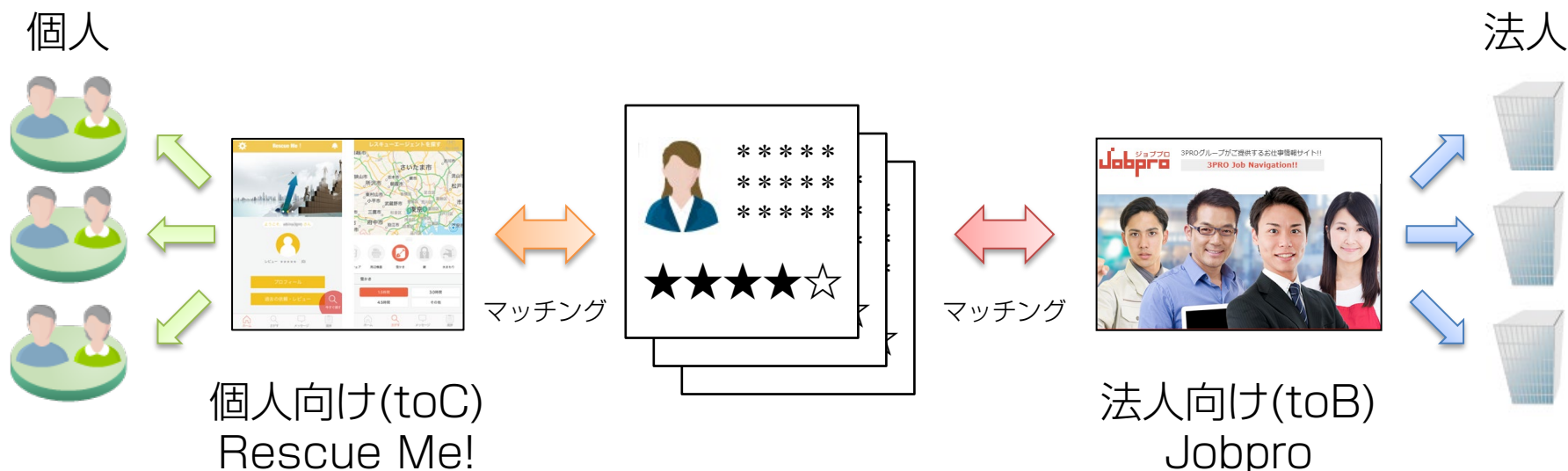
※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。（増減率は決算短信ベース）

多彩な人材と多様な働き方が新しい価値を生み出す ギグエコノミープラットフォーム



労働力問題の解決と新しい価値創造

10万人を超える登録エージェントのためのプラットフォーム



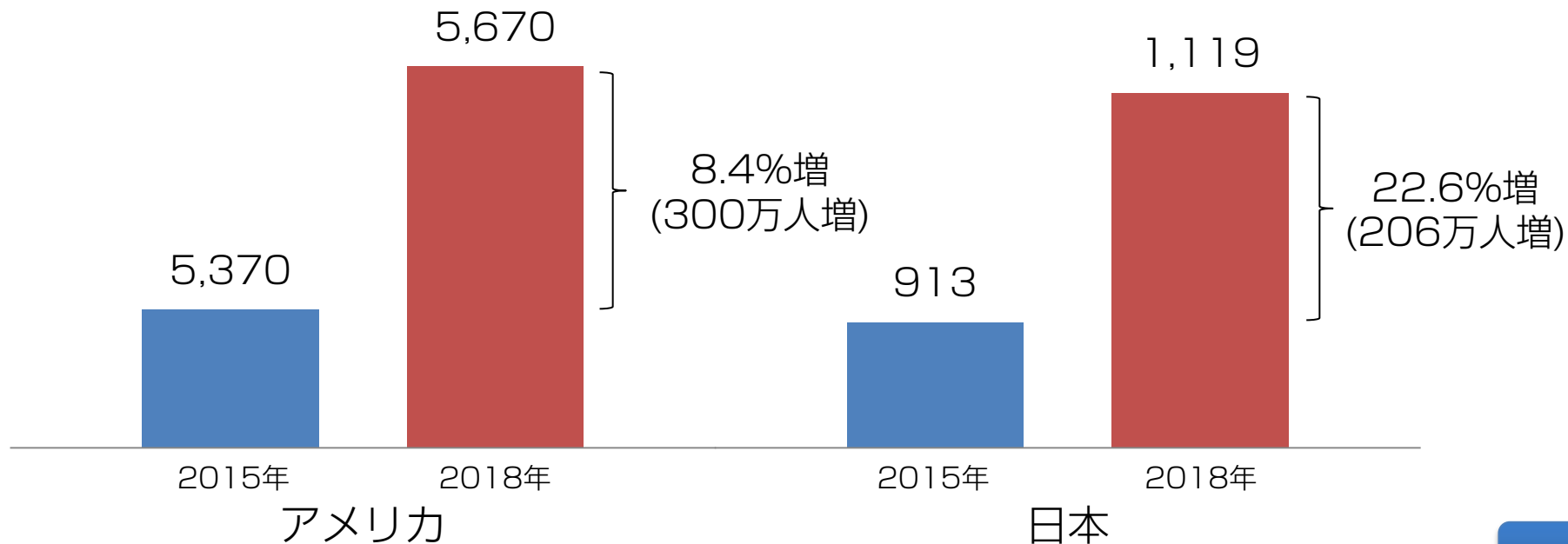
Agentデータベース (スキル/実績/評価)

創業以来累計 **700万件** を超える働き方をサポート

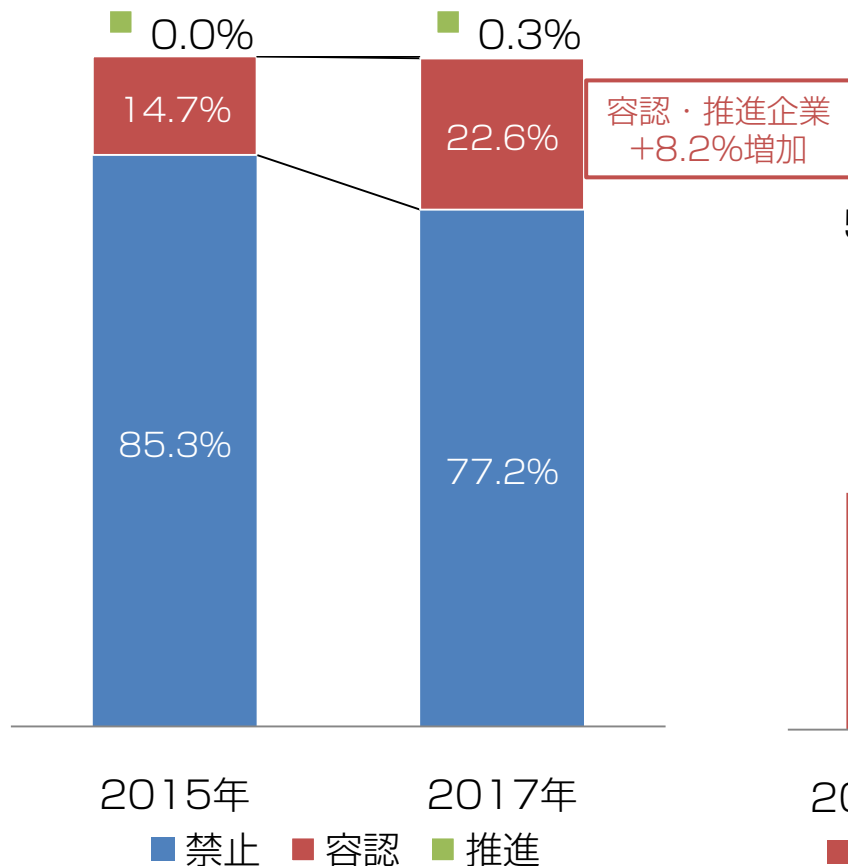
「雇用関係によらない働き方」
「多様かつ柔軟な働き方（副業・在宅等）」
＜2015年～2018年でのフリーランスによる成長＞
日本フリーランス人口の成長率 **22.6%**

※2018年時点でアメリカではすでに就労人口の3人に1人がフリーランスとして働いている

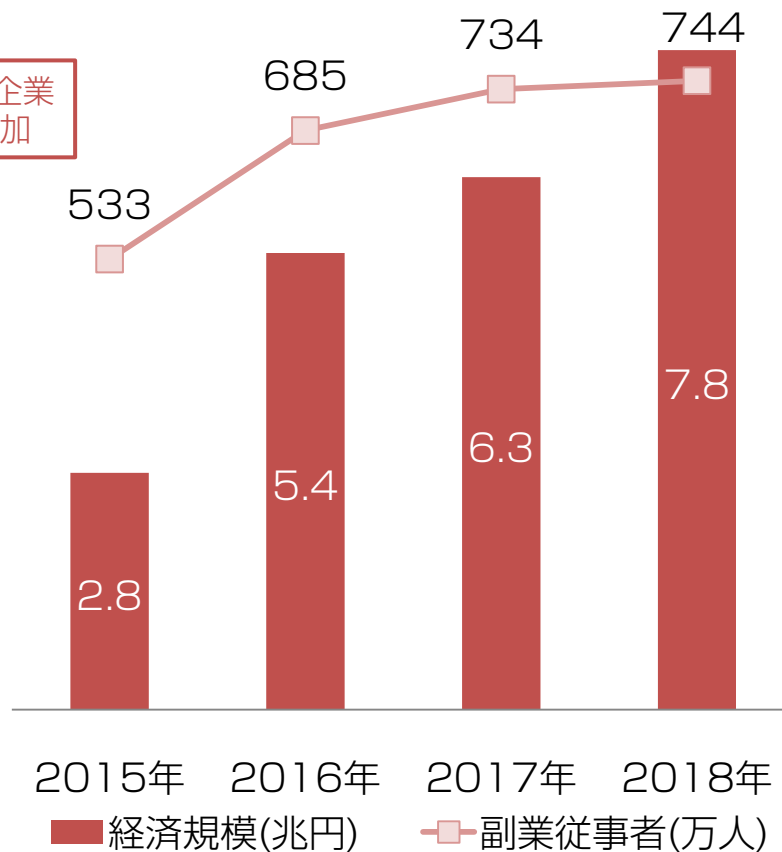
～フリーランス人口(万人)～



兼業・副業を容認する企業の割合

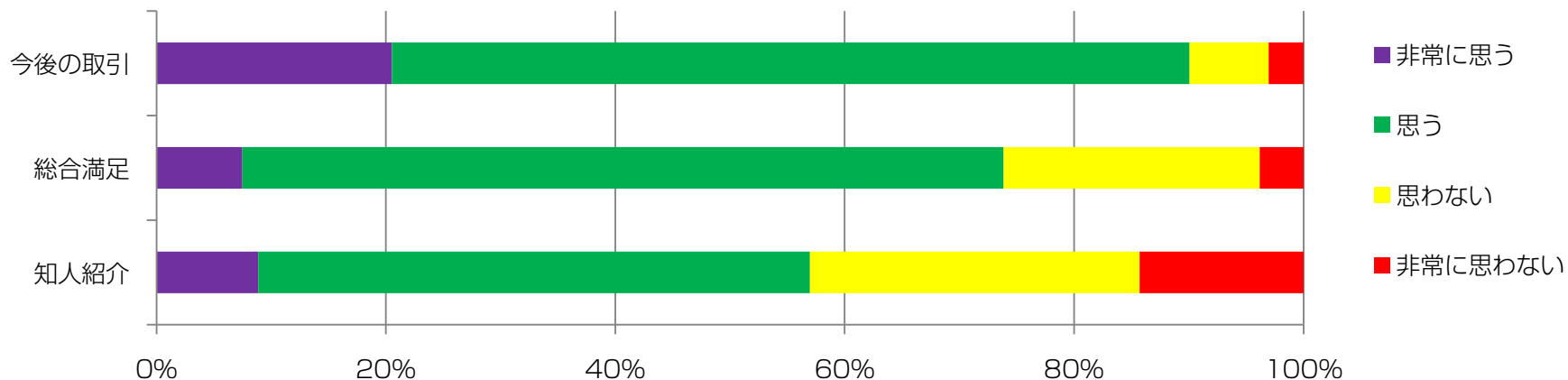


副業市場の規模

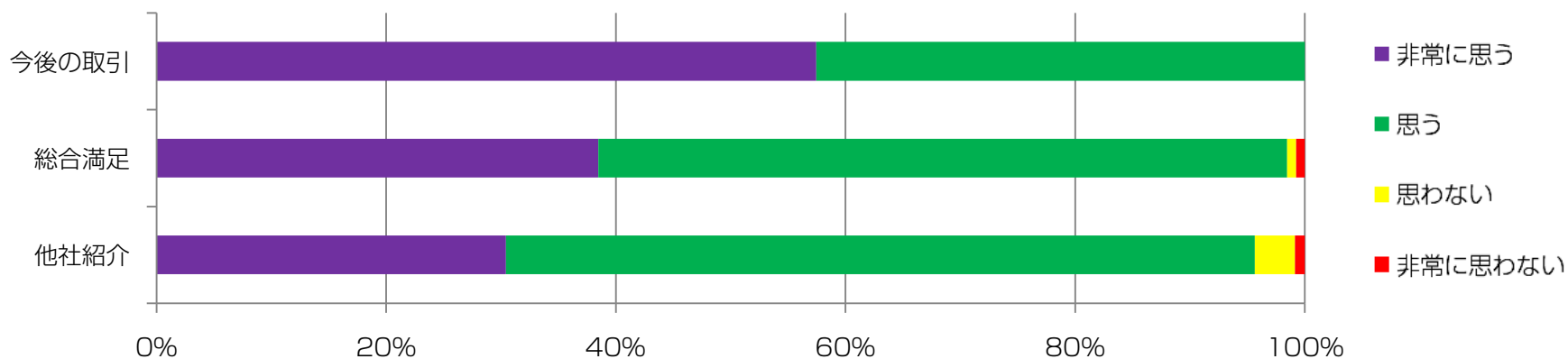


出所：中小企業庁「第4回兼業・副業を通じた創業・新規事業創出に関する研究会説明資料」、ランサーズ(株)「進化するフリーランスの未来」

◆AG調査



◆顧客調査



社員として働くより満足度が高い？

B
P
O

営業・販売支援
サービス

企業側の販売促進費の増加の機運も見られ引き続き堅調に推移
海外PCメーカーの店頭販売支援や量販店のラウンド業務受注拡大
人型ロボットやロボット型掃除機、IoTに関連した新商材の営業強化
フードデリバリー(宅配)において加盟店獲得の需要拡大
キャリア系バーコード決済の加盟店獲得を支援



導入・設置・交換支援
サービス

スマートフォン・タブレット、ロボットなどのキitting業務の増加
2017年度 78,000台 ⇒ 2018年度 113,000台(昨対45%増)

携帯電話・スマートデバイス無線通信の基地局案件など収益性向上

通信キャリア以外からのIoT案件やIT関連の設備投資案件の増加

POSの切替と使い方支援、法人の切替需要が増加見込み

2020年1月のWindows7 延長サポート終了に伴う
Windows10への切替需要の対応

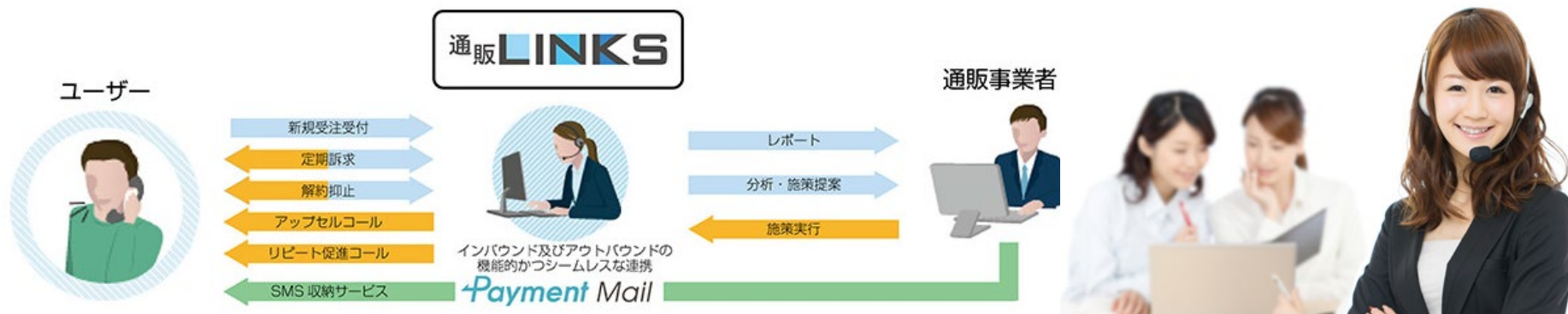


B
P
O

運用支援
サービス

IT周辺機器や多言語対応のヘルプデスクのニーズが堅調
通信販売事業からの契約数が順調に増加

インバウンド/アウトバウンドを融合した
「通販LINKS」も好調にサービス展開
人材の相互活用による統合効果



B
P
O

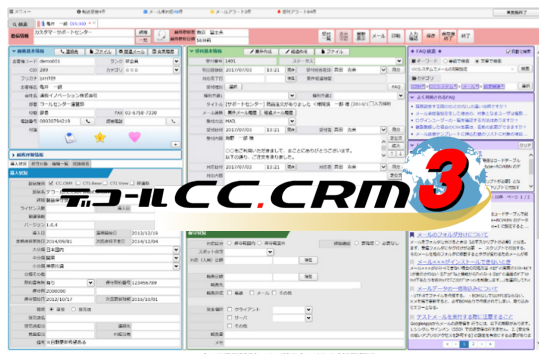
システム・
エンジニアリング

公共システムを対象としたソフトウェア品質サービスのニーズが堅調
社会インフラシステムの大型開発案件の受注

デコールCC.CRM受注案件の拡大 300社超の受注(昨対比10%増)

RPAツール「WinActor」の導入支援サービス需要拡大

OASマンマ事務所拡大などオフショア開発の積極的強化



※WinActorはエヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。



エンドユーザ	受注	競合数	競合サービス1	競合サービス2
決済代行 S社	○	4社	F.H	S.F
化粧品製造販売 P社	○	3社	F.H	S.F
損害保険 N保険協会	○	6社	F.H	S.F
建物総合管理 N社	○	2社	F.H	S.F
女性フィットネス C社	○	3社	S.F	Q.C
通信 TS社	○	3社	F.H	S.F
鉄道 J社	○	2社	E.C	—

業界競合他社とのコンペティションに勝利し受注が拡大

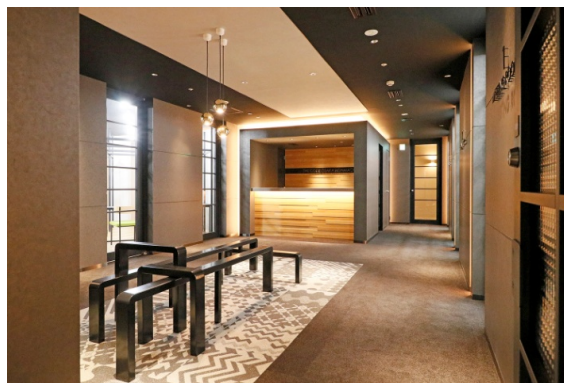
コワーキング スペース

利用企業者数が3,500社を突破し56拠点を運営、稼働率も高水準を維持

THE HUB 大阪江坂/THE HUB 大阪本町など直営拠点の増加
上半期にOPENしたTHE HUB渋谷/新宿も盛況

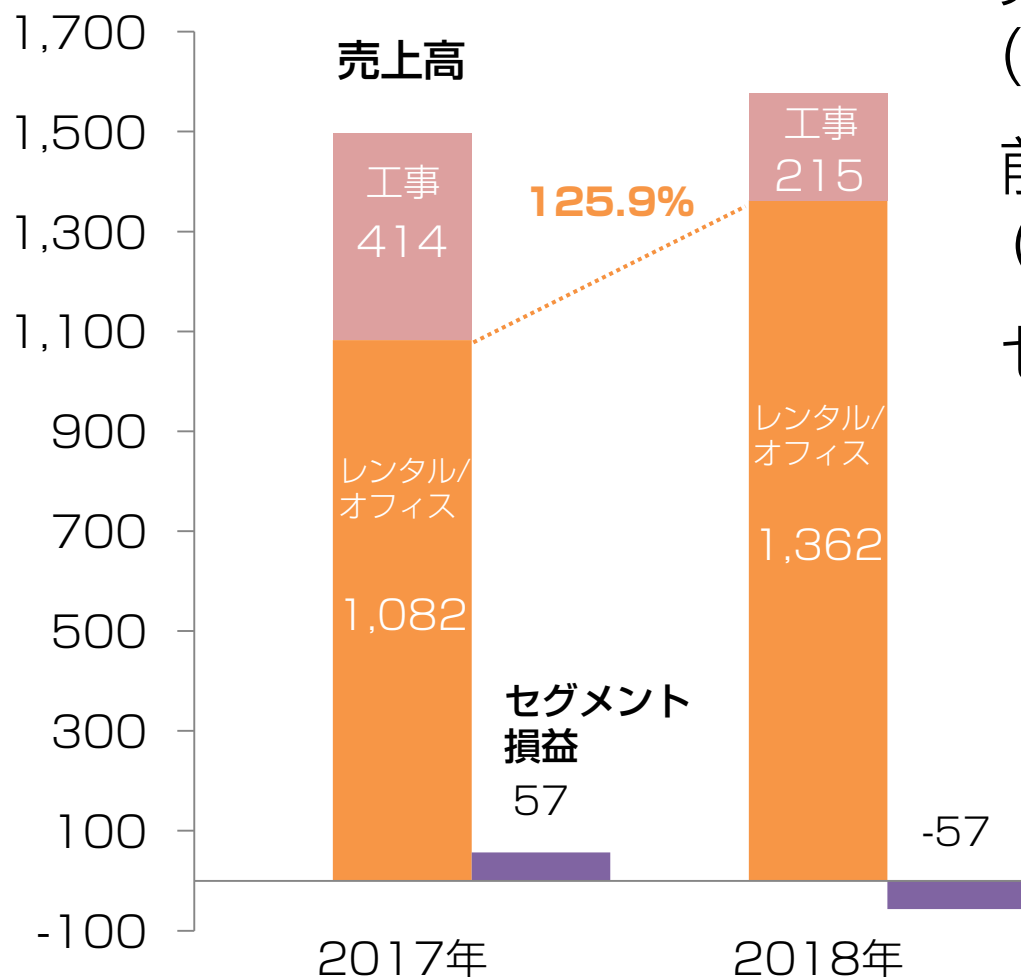
利用企業への人材提供やヘルプデスクの運営、BPO事業との融合を進める

アセットデザイン代表(若林 武)による著書を2018年7月に出版
「シェアオフィスの開設計画・管理運営マニュアル」 ※定価本体73,000円+税



決算概要 - セグメント別業績ハイライト⑤

(単位：百万円)



売上高 **1,577**百万円
(レンタル/オフィス **1,362**百万円)

前年同期比 **105.4%**
(レンタル/オフィス **125.9%**)

セグメント損益 **-57**百万円

委託店から直営店へ



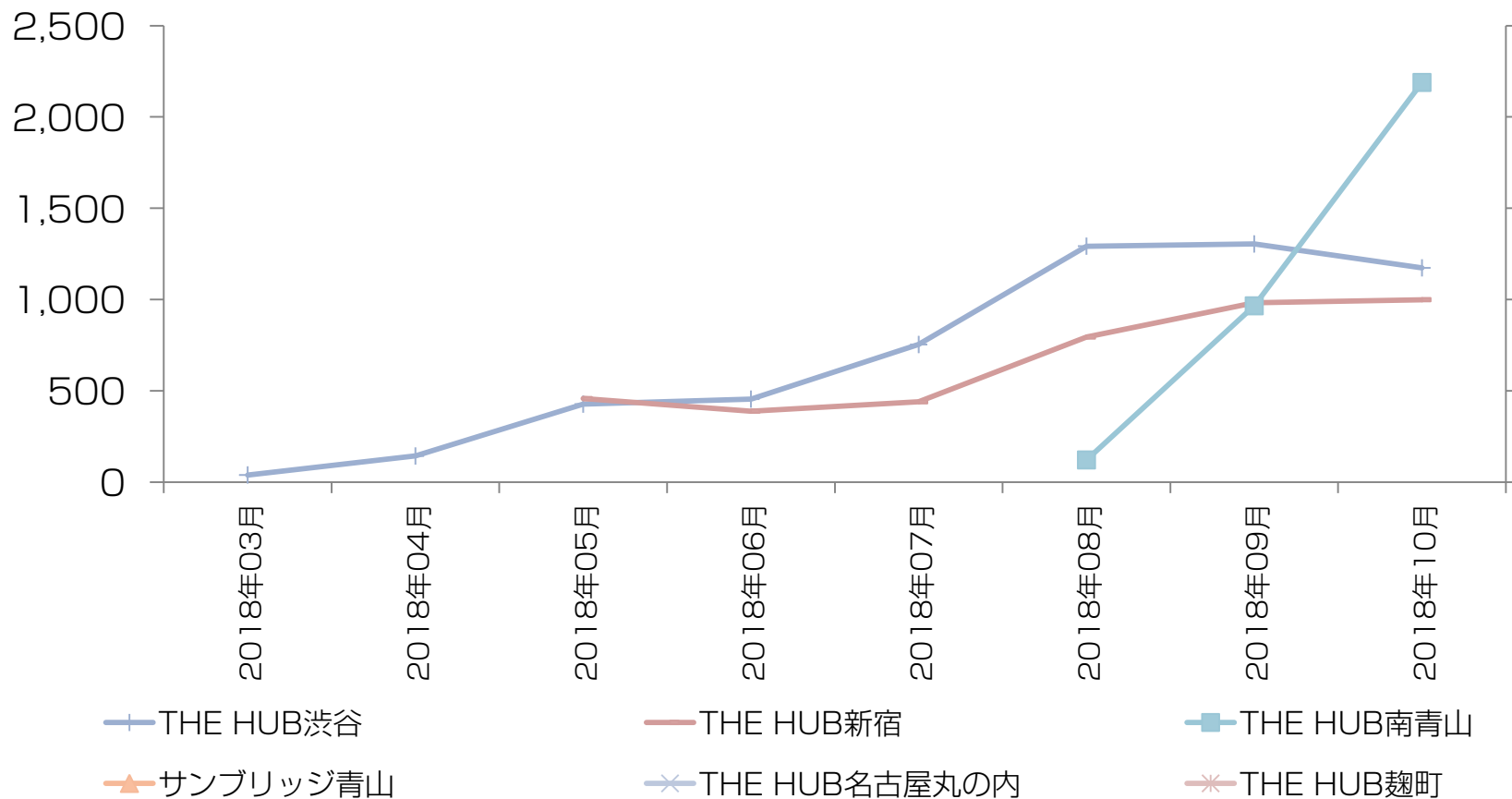
THE HUB南青山



THE HUB新宿

2018年度 新規出店(直営店)売上高推移 6店舗 直営店の利益率は委託店の倍

単位：千円

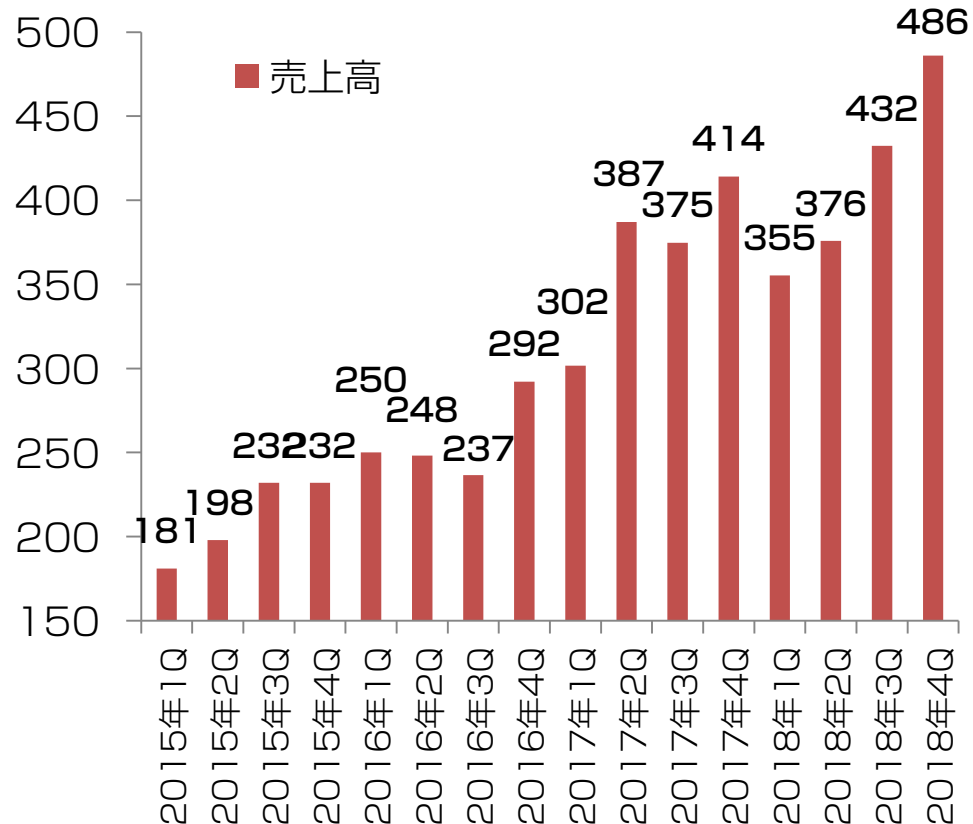
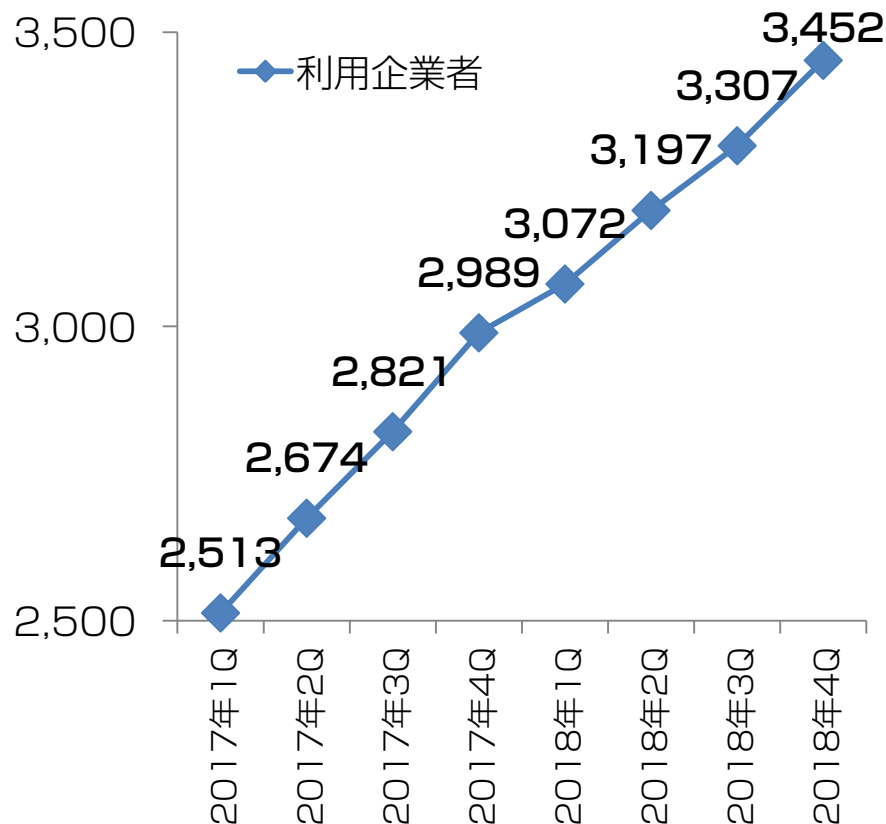


コワーキングスペース事業 利用企業者、売上高推移



単位：社

単位：百万円



**利用企業者数、売上高共に堅調な成長
2018年11月末時点で3500社を突破**

2. 2019年10月期 通期計画

2019年10月期 連結業績予想



単位：百万円

	2018年10月期 (2017年11-2018年10月)	2019年10月期 (2018年11-2019年10月)	増減
売上高	16,052	17,000	948
営業利益	586	700	114
営業利益率	3.65%	4.11%	+0.46pt
経常利益	613	700	87
経常利益率	3.81%	4.11%	+0.30pt
当期純利益	309	375	66
当期純利益率	1.92%	2.20%	+0.28pt

参考) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております (増減率は2018年10月短信での公表より)

3. 成長戦略/今後の取り組み

次世代の移動通信方式「5G」向けのネットワーク案件の受注



総務省 移動通信システムの高度化より引用

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h28/html/nc263210.html>

通信販売事業者向けのコールセンター業務の拡大 フルフィルメントサービスの提供

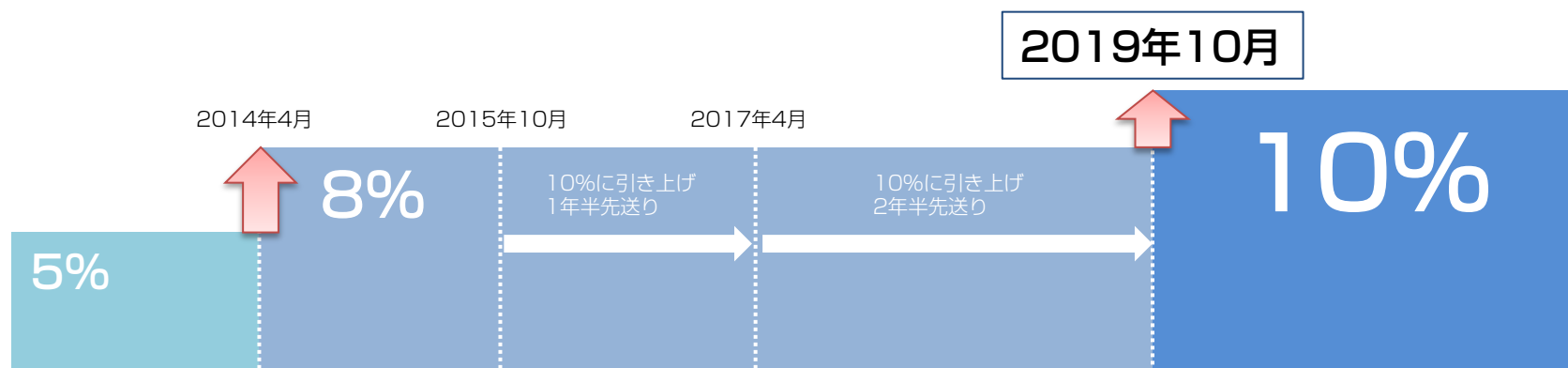


ソフトウェア開発受託、IT技術者派遣業務の安定成長

消費税の増税へのシステム対応を見すえた受託体制の構築

対応が必要とされるシステム改修例

- ・ 店舗のレジスターやPOSシステムなどの金銭管理システム
- ・ 売上の請求書発行などの販売管理システム
- ・ ネット通信販売の価格変更と受発注システム etc



「不動産×ギグエコノミーの融合」で美容師の働き方の多様化

SHARE SALON

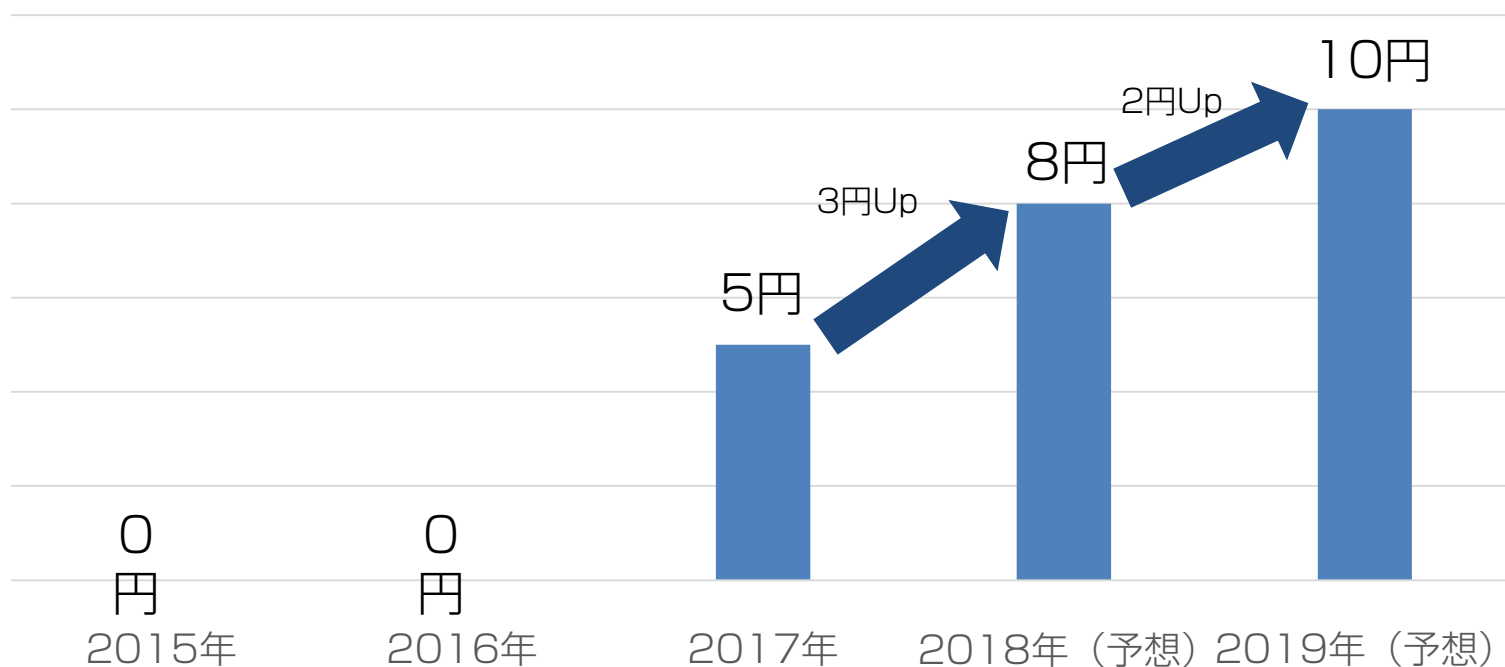
生活に密接な「美容」を取り込み、「継続性ある事業柱」を育成

「技術者と顧客」の問題解決のために
独立を目指す技術者に「協働の独立ステージ」を提供



2018年10月期の配当予想を増配

継続的に配当を実施できる収益基盤が整ったことより
ステークホルダーである株主に対して利益の還元を実施



2018年10月期より株主優待制度の導入を決定

1. こども商品券 (1単元以上1,000円)



2. 自社でマイニングした
ビットコイン贈呈 (1単元以上1,000円)



3. 公益財団法人SBS鎌田財団への寄付(1単元以上1,000円)



当期純利益の1%を 社会の発展、児童福祉施設へ寄付

～公益財団法人SBS鎌田財団～
学生・生徒に対する奨学金の給付



SBS
Kamata
Foundation

奨学支援金制度

奨学支援金制度
の設立にあたって

大学の授業料、教材費、生活費を軽減する必要がある。奨学金の給付や奨励金の給付で進学を支援する必要がある。社会にとって必要不可欠な制度です。SBS鎌田財団は、夢を持つ児童生徒や人が前を向いて歩いて行ける、より豊かな社会の実現の一助として、給付型奨学金を給付することとしました。SBS鎌田財団の奨学支援金制度は社会的貢献を続ける生徒の皆さんの大学での進学をサポートします。

SBS
Kamata
Foundation

事業内容

- SBS鎌田財団は以下の事業を通じてわが国社会の学術および産業の振興・発展と福祉ならびに文化の向上に貢献することを目的としています。
- ① 物流の振興・発展に資する学術研究に対する助成
- ② 物流の振興・発展に資する研究会、シンポジウム、セミナー等の開催に対する助成
- ③ 学生・生徒に対する奨学金の給付

奨学対象者

- 原則1名を支援。進学決定した年度以下の手立ての条件に該当する必要がある。
(1) 奨学対象(高校生、高校生、短大生、短大生、大学院生、修士課程)以下の学生(在学中)に限り、かつ、その年度に入学し、かつ、その年度に在学中であること
1. 児童福祉施設
 2. 児童自立支援施設
 3. 障害児施設(母子通園を行っている)児童
 4. 障害児自立支援施設
 5. 母子生活支援施設
 6. 老人保護施設
- (2) 大学、短大生、専門学校生が奨学金を受けること
(3) 学業の進歩、進級に著しい、進級が決定した。

1人
30
万円を給付

奨学金の給付額

奨学出願手続き

- 応募には以下の条件および必要書類が必要となります。
- (1) 申込書
 - (2) 奨学申込書
 - (3) 推薦状(必ず添付)
 - (4) 写真
 - (5) 作文
 - (6) 自伝書
 - (7) 推薦状(推薦状、推薦状添付書)

奨学生の決定

奨学奨励金の決定は奨学奨励金の推薦状に基づいて行われ、推薦状を決定します。www.sbs-kamata.jp

詳細はホームページで
www.sbs-kamata.jp
http://www.sbs-kamataaidan.or.jp/skzd/furtherance/ への申込みページをご覧ください。お問合わせは下記までお願いいたします。

SBS鎌田財団事務局
TEL:03-3346-2327 E-mail:kamataaidan@3pro.co.jp

～昨年度実績～

「平成30年7月豪雨」被害に対する義援金として広島県に100万円を寄贈

東証一部への指定替えの準備

次のステップに向けて

主要要件 (市場変更時)	東証一部要件抜粋	当社状況		補足 事項
株主数	株主数2,200人以上となる見込み	2,139人 (議決権株主) 2,221人 (総株主)	○	2018年 10月末現在
時価総額	時価総額40億円以上	7,036百万円 (70億円)	○	2018年 11月末現在
純資産の額	連結純資産の額が10億円以上 (かつ、単体純資産の額が負でないこと)	2,863百万円 (28億円)	○	2018年 10月末現在
利用要件(連結経常利益金額 に少数株主損益を加減)	最近2年間の利益の総額が 5億円以上であること	1,015百万円 (10億円)	○	直近2期合計



～ 一人ひとりが夢を実現できる社会を目指して ～

社会の発展、健康の増進、教育の改善に寄与する活動に参画し、
心身ともに充実した働き方の改革に取り組む

參考資料

会社名	: スリープログループ株式会社 (ThreePro Group Inc.)
創業	: 1996年4月
資本金	: 10億2,321万円
本店所在地	: 東京都新宿区西新宿 7-2 1-3
グループ売上高	: 160億円5,200万円 (2018年10月期)
グループ会社	: スリープロ株式会社 : スリープロエージェンシー株式会社 : WELLCOM IS株式会社 : 株式会社アセットデザイン : 株式会社JBMクリエイト : ヒューマンウェア株式会社 : オー・エイ・エス株式会社
代表者	: 代表取締役社長 村田 峰人
従業員数	: 2,513名(グループ社員)
登録スタッフ数	: 125,000名
株式上場	: 東証二部 証券コード: 2375
取得資格	: 一般電気通信工事業,特定電気工事業
URL	: http://www.threepro.co.jp/

持株会社

スリープログループ株式会社 東京都新宿区西新宿7-21-3



BPO事業

スリープロ株式会社 東京都新宿区西新宿7-21-3



BPO事業

WELLCOM IS 株式会社 福岡県福岡市中央区天神1-13-21



BPO事業

株式会社JBMクリエイト 大阪府大阪府中央区北浜2-6-18



BPO事業

ヒューマンウェア株式会社 東京都新宿区西新宿7-22-33



BPO事業

オー・エイ・エス株式会社 東京都千代田区神田淡路町二丁目105番地



コワーキングスペース事業

株式会社アセットデザイン 東京都港区西新橋2-4-3



フィンテック事業、その他

スリープロエージェンシー株式会社 東京都新宿区西新宿7-21-3



株主構成 (2018年10月末日現在)



氏名又は法人名	所有株数	議決権 個数	議決権 比率	補足説明
村田ホールディングス株式会社	781,305	7,813	11.77%	代表村田の資産管理会社
SPRING INVESTMENT株式会社	627,005	6,270	9.44%	代表村田の資産管理会社
SPRING株式会社	613,885	6,138	9.24%	代表村田の資産管理会社
スリープログループ株式会社 (自己株式)	546,083	-	-	
NATIONAL FINANCIAL SERVICES LLC	540,400	5,404	8.14%	
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	472,951	4,729	7.12%	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	380,900	3,809	5.74%	
株式会社大塚商会	360,000	3,600	5.42%	
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES SINGAPORE / JASDEC / UOB KAY HIAN PRIVATE LIMITED	338,900	3,389	5.10%	
クックマンブラザーズ株式会社	189,000	1,890	2.85%	
11位以下合計	2,336,891	23,359	35.18%	
計	7,187,320		100.00%	

代表村田が約30%の株式を保有

代表取締役社長 村田 峰人



1997年 (株)ウィルクリエイト入社
2007年 SPRING(株)代表取締役就任(現任)
2014年 当社代表取締役就任(現任)
2015年 村田ホールディングス代表取締役就任(現任)

社外取締役 鎌田 正彦



1979年 東京佐川急便(株)入社
1987年 (株)関東即配(現SBSホールディングス(株))取締役就任
1988年 同社代表取締役社長就任(現任)
2003年 同社代表執行役員就任(現任)

取締役会長 関戸 明夫



1972年 東京海上火災保険(株)入社
1995年 (株)シネックス取締役社長就任
2007年 グローバルBPO 代表取締役社長 就任
2014年 当社取締役会長就任(現任)

社外取締役 木下 俊夫



1966年 クーパースアンドライブランドジャパン入所
2005年 中央青山監査法人 東京事務所 国際担当理事就任
2007年 日本公認会計士協会 専務理事就任
2013年 同協会 理事就任
公認会計士木下事務所 代表就任(現任)

[重要な兼職の状況]

株式会社みずほ銀行 社外取締役
パナソニック株式会社 社外監査役
株式会社アサツーディ・ケイ 社外取締役 監査等委員会委員長
株式会社クールジャパン機構(官民ファンド) 社外監査役
株式会社ウェザーニューズ 社外監査役

社外取締役 シンディ・ザオ



1995年 伊藤忠商事(株)北京事務所入所
2001年 同社事業開発本部課長
2008年 (株)マウスコンピューター社長室長
2009年 Genpact Japan(株)
BusinessDevelopmentVP(現任)

- ◆本資料もしくは口頭による説明において、歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しです。これらは、現在入手可能な情報を基にスリープログループ株式会社が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
- ◆本資料は、株主・投資家等の皆様にスリープログループ株式会社の経営方針、計画、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、利用者に対して、当社の株式の購入、売却等、投資を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。
- ◆情報・資料の掲載には注意を払っておりますが、掲載された情報の内容またはその誤りについては保証するものではありませんので、ご了承願います。

◆連絡先

スリープログループ株式会社 広報 | R担当 < ir@threepro.co.jp >
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル
Phone : 03-6832-3260 Fax : 03-6832-3269